




様式

技術名称	LSSによる空洞補修工法	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	KT-990318(材料)
会社名等	徳倉建設株式会社	担当者	安田知之		連絡先 052-961-3276
技術の概要	自然災害に対する予防保全が叫ばれる中で、緊急輸送路、護岸裏込め部などの直下に発生している空洞地盤の周辺に与えている影響を最小限に抑え、かつ短期間で補修する技術			添付資料	パンフの有無 有
					その他の資料 カタログ
技術の特徴	<p><工法の特徴></p> <p>①1空洞に対しφ75～100程度のコアを最低2か所設置するだけで施工が可能であり、対象となる既存施設をほとんど痛めない。</p> <p>②充填材であるLSSの主成分は土で流動性を持った材料です。空洞地盤へ注入した後、既存地盤となじみもよく、硬化後にすぐれた改良地盤を形成します。</p> <p>③従来の対策と比べ、時間の大幅な短縮につながります。例えば道路の場合、「通行止め」もなく「短時間の道路占有」で施工をすることができることから、交通規制等周辺に与える影響が僅かである。</p> <p>④使用材料は流動性を有するため、高圧注入の必要はありません。交通量の多い道路上でも安心して充填処理が行えます。</p> <p>⑤工事期間・周辺への影響を加味した場合、トータルでのコストダウンが可能になります。</p> <p>⑥名古屋市7区道路下空洞充填、護岸裏込め部空洞充填の実績があります。 (右写真紹介)</p>			施工写真	  <p>護岸裏込め部の空洞充填(飛島埠頭)</p>  <p>道路下空洞の充填(名古屋市)</p>